

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	5	佐藤 淳一	<p>防犯対策について</p> <p>1. 防犯対策について</p> <p>(1) これまで市内に設置された防犯カメラの現状について伺う。</p> <p>(2) 岩沼市防犯カメラ設置補助事業の現状と課題について伺う。</p> <p>(3) 防犯カメラ増設の計画や補助事業を活用した新規設置について、今後どのように見込んでいるか伺う。</p> <p>(4) 小学校区をモデル地区とした子どもの見守り防犯カメラの設置を検討してはどうか伺う。</p> <p>(5) 今後の防犯対策の推進について、本市の考えを伺う。</p>	市長 教育長
2	2	菊地 忍	<p>気候変動に対応した雨水排水対策等について</p> <p>1. 近年、地球温暖化等に伴う気候変動により、世界各地で甚大な災害が多発している。</p> <p>地球温暖化に起因する気候変動が周知の事実となる中、我が国において1997年に地球温暖化防止会議が開催され、京都議定書が採択された。また、2015年にはパリ協定が採択されるなど地球温暖化の抑制に関する機運は、世界的に高まっている。</p> <p>さらに、本年9月23日に開催された国連気候行動サミットでは、国連事務総長から全てのリーダーに対し、今後10年間の温室効果ガス排出量の大幅な削減が呼びかけられた。</p> <p>このことから、今世界が1つになって温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいかなければならないと考える。</p> <p>先の台風19号の襲来からも分かるように、東北地方においても温暖化は進行しており、仙台管区气象台が発行しているパンフレットからも読み取ることができる。</p> <p>これらの気候変動等を踏まえて本市の雨水排水対策等について伺う。</p> <p>(1) 市内の各ポンプ場の現状と排水処理能力について伺う。</p> <p>(2) 排水処理に当たって、排水先の水路の整備は間に合っているのか伺う。</p>	市長

(続)	2	菊地忍	<p>(3) 排水路の管理状況（しゅんせつ、清掃等）について伺う。</p> <p>(4) 台風19号を経験しての反省点はあったか伺う。</p> <p>(5) 地球温暖化に伴う気候変動により今後も大雨が予想されるが、今後の大雨に対しての対策と方針について伺う。</p>	市長
3	3	高橋光孝	<p>8050問題対策の進捗について</p> <p>1. 8050問題対策の進捗について伺う。</p> <p>(1) 6月定例会の一般質問での8050問題対策への取組について、「少し検討してみたいと思っています。」と答弁されたが、具体的な検討を始めたのか伺う。</p> <p>(2) 8050問題に限らず、全世代のひきこもりの実態調査を行なってはどうか伺う。</p> <p>(3) 今後、8050問題含め、自殺防止や引きこもり、生活困難、虐待などを含めた総合的な相談窓口を開設してはどうか伺う。</p>	市長 教育長
4	10	渡辺ふさ子	<p>台風19号への対応と水害対策について</p> <p>1. 道路・水路被害について</p> <p>(1) 市政報告に西部地区を中心とした43か所で被害を確認し、16か所が国の災害復旧事業に該当する可能性があるとして報告している。被害状況、内容を伺う。</p> <p>(2) その他の27か所の被害状況、内容を伺う。</p> <p>(3) 二次災害の発生を防止するため、早急な復旧を行うと報告している。道路、水路施設等の応急措置として、岩沼建設産業同友会と災害時における応急措置の協力に関する協定を結んでいるが、今回はどうだったのか。</p> <p>2. 床上浸水について</p> <p>(1) 政府は被災者の生活と事業の再建に向けた「対策パッケージ」を決めた。これまでは半壊以上だった支援対象に新たに一部損壊を加えた。市内の床上浸水の家屋も該当するのか。</p> <p>(2) 日本共産党は被害認定に関して、政府に「浸水の深さで機械的に認定するケースがある。住宅の機能に対する被害の程度を正確に反映することを徹底し、弾力的な認定を行うこと」を求めた。 市長の被害認定に関する見解を伺う。</p> <p>3. 避難所について</p> <p>(1) 9か所の避難所が開設されたが、平屋に住む高</p>	市長

(続)	10	渡辺 ふさ子	<p>齢者世帯の方から避難訓練をしている岩沼中学校が開設されず、「遠くの避難所まで大雨の中、どうやって行けばいいか困り、非常に怖い思いをした」との声があった。避難のための交通手段をどう考えるか。</p> <p>(2) 南長谷地区の方から、「勤労者活動センターまでは県道の途中が冠水していて行かれない。」「近くて歩いて行ける南長谷地区集会所は指定避難所になっていて避難訓練もしているが、水も電気もなく夜は使えない。」との声があった。避難所の設定について改善を望む声があるがどうか。</p> <p>(3) 避難所の開設は時間を迫って増えていったが、対応が遅かったのではないか。</p> <p>4. 緊急エリアメールについて、亘理町のメールでは水、食料などを持参した避難を呼びかけていたが、岩沼市のメールには記載がなく、何も持たずに避難した人もいた。避難所では水と毛布は配られたが食料はなかった。今後はメールの内容も検討すべきではないか。</p> <p>5. 宮城県が平成26年に計画した、五間堀川圏域河川整備計画は30年間を対象期間としているが、洪水被害の発生状況などにより、適宜見直しを行うものとしている。近年は大規模な台風や豪雨が頻繁に発生してきており、市民からも不安な声が寄せられている。抜本的な水害対策を求めるべきではないか。</p> <p>(1) 志賀沢川の改修計画を急ぎ、上流部から中小河川への流入を防ぐ対策が必要ではないか。</p> <p>(2) 五間堀川上流工区・四日市場との境界にポンプ場を設置し、西部地区の内水を五間堀に流し込む対策が必要ではないか。</p> <p>(3) 押分排水機場のくみ上げる水量を増やしてはどうか。</p>	市長
5	7	布田 恵美	<p>災害に強いまちづくりについて</p> <p>1. 先の超大型で非常に強い台風19号の襲来においては、市内で開設した9か所の避難所に331世帯、879人が避難された。農業被害、道路・水路被害、浸水、公共施設への被害も生じた。地球規模で気候変動が危惧されており、今回の経験を踏まえ、災害に強いまちづくり、減災も含めた今後の対策について、講じていく必要がある。</p> <p>(1) 今回の台風では、市民図書館や市民交流プラザ</p>	市長 教育長

<p>(続)</p>	<p>7</p>	<p>布田 恵美</p>	<p>が床上浸水となった。</p> <p>いずれも築年数が浅く、利用者も多い公共施設であり、これまでの水害で浸水した地域でもあったことから、設計時からの水害対策についてどのような想定があったのか、地域の方々から疑問や不安の声が届いている。それらを踏まえて、今後の浸水対策について伺う。</p> <p>① 市民図書館及びその周辺地区における浸水状況と今後の浸水対策について伺う。</p> <p>② 市民交流プラザ及びその周辺地区における浸水状況と今後の浸水対策について伺う。</p> <p>(2) 福祉避難所について</p> <p>令和元年9月の「岩沼市避難行動要支援者避難支援プラン」によると、地域福祉避難所一覧(平成29年2月8日現在)は、17か所ある。今回のような避難勧告、避難指示(緊急)が出された中で、居住する地域によっては早めの避難行動をとった家庭もあった。中には発達障害や自閉症など、生活環境が変わると配慮が必要な事例もあり、周囲に迷惑をかけたくないからと、避難をちゅうちょした現実も聞いた。福祉避難所は要支援者を二次的に受け入れる施設となっているが、可能な限り、早い段階からの開設を願う声が多数ある。今後の対応について伺う。</p> <p>2. 子育て世代への情報伝達として、今年7月に公開された「いわぬま iキッズアプリ」がある。子育て支援を中心とした内容であるが、そちらの内容にも防災や減災につながる情報を含める、又はリンクすることは必要だと思うが、見解を伺う。</p> <p>3. SNSアプリのLINEの機能に「長野市2019台風被災者LINEBOT」がある。長野市役所のLINE公式アカウントを使い、令和元年10月の台風被災者支援を行うために開発、運用されており、必要に応じてLINE上でメニューに応じての問い合わせ、返答が得られる仕組みとなっている。災害時に復旧と生活再建に向かう中で、諸手続を調べながら、それらを進めることは容易ではない。それらを軽減する便利なツールとして役立っている。当市においても「LINE公式アカウント」導入を検討してはどうか。</p>	<p>市長 教育長</p>
------------	----------	--------------	---	-------------------

(続)	7	布田 恵美	<p>岩沼市の産業振興について</p> <p>1. 平成30年9月議会での一般質問で「以前開催していた工業見本市を再開してはどうか」と取り上げた。執行部からは「平成20年度から3年間開催していた工業見本市は、市町村単位では県内初の試みでしたが、震災で中止になった経緯があります。震災から7年が経過して市内企業の状況も変わっていますので、工業見本市の中心的な役割を担っていた商工会とも協議しながら再開の可能性を検討したいと思いますが、との答弁があった。その後、1年が経過したが、どのような検討をしてきたのか伺う。</p>	市長
6	1	佐藤 剛太	<p>台風19号への対応について</p> <p>1. 岩沼市震災伝承・防災アプリについて</p> <p>(1) 台風時に全く機能しなかった原因と理由を伺う。</p> <p>(2) これまでの導入や更新に伴う費用と更新時期・更新回数を伺う。</p> <p>(3) アプリのダウンロード数を伺う。</p> <p>(4) どのような目的で導入したのか伺う。</p> <p>(5) 導入したことで市民に対してどのような効果があったのかを伺う。</p> <p>(6) 今後の「岩沼市震災伝承・防災アプリ」の在り方について、市長の見解を伺う。</p> <p>2. 情報発信について</p> <p>(1) 台風19号において、どのような情報発信を行ったのか伺う。</p> <p>(2) SNSなどの情報発信が行われていなかったが、今後ツイッターなどを活用して情報発信を行うべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 災害時における情報発信の重要性について、本市の見解を伺う。</p> <p>3. 避難所について</p> <p>(1) 西部地区に開設された避難所について伺う。</p> <p>(2) 岩沼西小学校屋内運動場が12月から約一年間改修工事が行われる予定だが、その期間中の代替りの避難所は、どのように考えているのか。</p> <p>(3) 避難所を兼ねた公共施設には、避難所としての機能を備えることが必要となるが、どのように行われるのか伺う。</p> <p>① バリアフリー化などによる安全性について</p> <p>② 太陽光発電や蓄電池などの導入について</p>	市長 教育長

(続)	1	佐藤 剛太	<p>③ 改修工事が行われる岩沼西小学校屋内運動場について</p> <p>④ 新しく建設される予定の（仮称）西部地区防災コミュニティセンターについて</p> <p>(4) 避難所までの道路の冠水箇所が多くあり、避難所への移動が困難になると考えるが、それについて本市の見解を伺う。</p> <p>4. 台風19号における消防団の活動状況等について伺う。</p> <p>(1) 消防団と市の連携はどのように行われていたのか。</p> <p>(2) 消防団の活動はどのように行われたのか（時間や活動内容）。</p> <p>(3) 災害時の巡回などで消防団ポンプ車（軽自動車）が使用されているが、団員の安全性のために災害用の作業車の導入が必要ではないか。</p> <p>(4) 消防団詰所や消防ポンプ小屋が土砂災害危険区域や浸水する場所に設置されている消防団がある。消防団の詰所などを安全な場所へ移設することも必要でないか。</p> <p>5. 志賀沢川について</p> <p>(1) 台風19号で崩壊した志賀沢川の今後の管理について、本市の見解を伺う。</p>	市長 教育長
7	14	長田 忠広	<p>子どもの健康対策について</p> <p>1. 子ども医療費助成制度の対象年齢を18歳まで拡大してはどうか伺う。</p> <p>2. 小児がん治療でワクチン抗体を失った子どもを対象に、再接種費用の助成制度を創設してはどうか伺う。</p>	市長
			<p>防災対策について</p> <p>1. 台風19号に伴う対応について</p> <p>(1) 避難所開設の選定方法及び経過について伺う。</p> <p>(2) 冠水箇所マップを全戸に配布してはどうか伺う。</p> <p>2. 福祉避難所について</p> <p>(1) 指定状況について伺う。</p> <p>(2) 福祉避難所開設マニュアルの策定状況について伺う。</p> <p>3. 災害時における井戸等を活用した施策の進捗状況を伺う。</p>	市長

(続)	14	長田 忠 広	<p>4. 土のうステーションについて</p> <p>(1) 台風19号に際しての利用状況と効果について伺う。</p> <p>(2) 公共施設への設置箇所を増やしてはどうか伺う。</p> <p>(3) 「(仮称) 土のうステーション設置補助事業」を創設してはどうか伺う。</p> <p>5. 現在防災ラジオの在庫がない。追加発注してはどうか伺う。</p>	市長
8	8	酒井 信 幸	<p>台風等の水害時における避難等について</p> <p>1. 台風19号における避難の状況等について</p> <p>(1) 10月12日(土)に、まず自主避難所を開設したが、なぜ自主避難所の開設が4か所だけだったのか伺う。</p> <p>(2) その後、午後7時に3か所、午後8時30分に2か所の指定避難所を開設したが、なぜ時間差を設けて避難所を開設したのか伺う。</p> <p>(3) 指定避難所が25か所ある。開設された指定避難所はなぜ9か所だけだったのか伺う。</p> <p>(4) 勤労活動センターの避難所(収容人数380人)が定員をオーバーして、別の避難所へ誘導したと聞くが、避難の周知等に問題があったのではないのか伺う。</p> <p>(5) 今回の市内全域への避難指示発令について伺う。</p> <p>(6) 垂直避難の周知について伺う。</p> <p>2. 内水被害の状況と対策等について</p> <p>(1) 台風19号による内水被害があった道路の冠水箇所を伺う。</p> <p>(2) 内水ハザードマップの作成について伺う。</p> <p>(3) 災害時に民間施設を避難所とする協定締結の状況について伺う。</p> <p>(4) 内水被害を減らす排水対策について伺う。</p> <p>3. 阿武隈川堤防が決壊したときのシミュレーション等について</p> <p>(1) 阿武隈川の堤防の強度や高低について伺う。</p> <p>(2) 大雨により阿武隈川が堤防決壊(越水)することを想定した、決壊する場所等のシミュレーションを行い、いち早く避難すべき地区の設定を行うことが大事だと思うが、見解を伺う。</p>	市長

9	9	須藤 功	<p>岩沼市の雨水排水について</p> <p>1. 10月12日の台風19号について</p> <p>(1) 主な被害状況について伺う。</p> <p>(2) 被害状況をどう考えるか。</p> <p>(3) 住民からの苦情は聞こえているか。</p> <p>(4) 仙台河川国道事務所が出している「五間堀川浸水情報システム」に押分排水機場の運転状況などに誤った情報があった。確認されたか。</p> <p>(5) 市が今後の対策として考えていることは何か。</p> <p>2. 今後の対策について提案</p> <p>(1) 岩沼市の主な施設（市内の小中学校、ハナトピア岩沼など）に、プラスチック製の地下貯留浸透施設を導入し、近隣住宅への被害を軽減してはどうか。</p> <p>(2) 各家庭に雨水貯留タンクを補助ではなく支給してはどうか。</p> <p>(3) 道路側溝の清掃を強化してはどうか。</p> <p>(4) これから建設する朝日2号線の道路高を通行止めにならないよう橋りょうのように高くしてはどうか。</p> <p>(5) 宮城県の五間堀川圏域河川整備計画に関して、平成26年に計画が変更されている。岩沼の排水対策は独自性を持たなければ、近隣市町のような大きな被害にならないとも限らない。見解を伺う。</p>	市長 教育長
			<p>給食費見直しについて</p> <p>1. 給食費の値上げは「子ども・子育て支援計画」の「子育てしやすいまち」という評価に逆行するのではないか。</p> <p>2. 「i（あい）があふれる“健幸”先進都市いわぬま」の愛は、値上げによって無くなるのではないか。</p> <p>3. 名取市の給食費無償化をどう見るか。</p> <p>4. 岩沼市も給食費無償化を考えないのか。</p> <p>5. 市の自助努力で来年4月からの値上げを見送るべきではないか。</p>	市長 教育長